

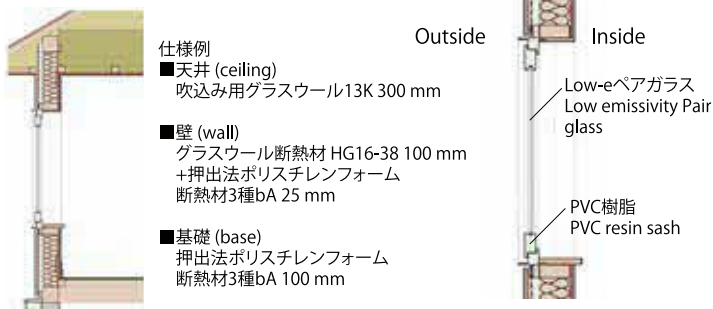
北海道の住宅のあゆみ②

北方型住宅 一気候風土に適した質の高い総合的な住まい

around 1998



— 4つの基本性能と3つのしくみで
安心な家づくりを実現 (2005 基準)



相当隙間面積 (C 値) : 2.0cm² / m²

年間暖房用灯油使用量 : 1200L



北方型住宅の誕生

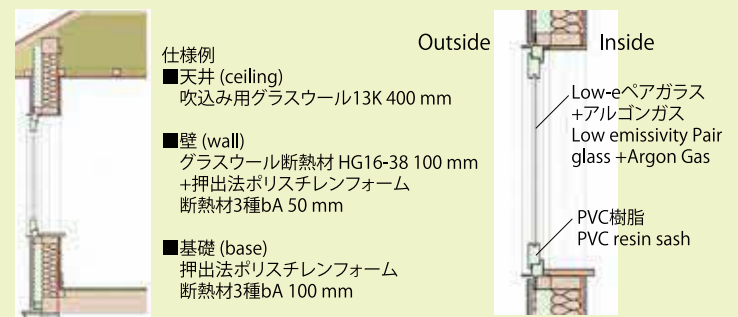
積雪寒冷地である北海道で、良質な住まいの実現を目指し、住宅建設事業者、研究所、行政の産学官の連携により、開発・普及してきました。

住宅の性能とともに、住まい方にも配慮し、30年以上培った家づくりの技術が詰まっています！



北方型住宅 ECO (2010 基準)

— 国内最高水準 (当時) の
気密性能と断熱性能を確保



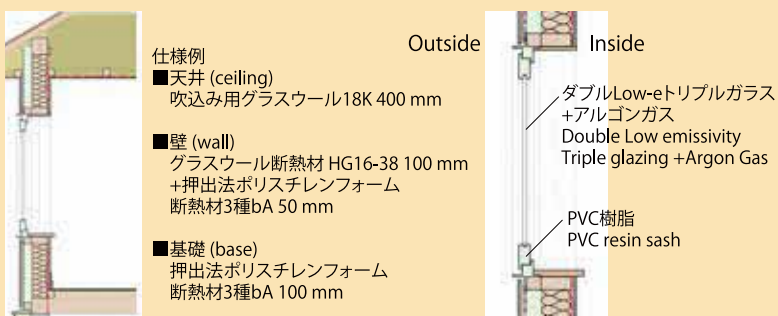
相当隙間面積 (C 値) : 1.0cm² / m²

年間暖房用灯油使用量 : 970L



北方型住宅 2020

— 災害対策や省エネ化など
社会のニーズに合わせて性能を
さらに向上



相当隙間面積 (C 値) : 1.0cm² / m²

年間暖房用灯油使用量 : 800L



北方型住宅の進化

時代や社会のニーズによりレベルアップしてきた北方型住宅。

これからも、ニーズに対応し、より良質な住まいをめざし、北方型住宅は進化していきます。

北方型住宅は単なる性能基準ではなく、総合的な住まいづくりを続けていく「住宅運動」なのです。